

部 局	環境部	補 職	部 長	氏 名	環境部長
-----	-----	-----	-----	-----	------

1. 部局の使命

SDGsの目標のひとつである気候変動への対策として低炭素社会、循環型社会及び都市における自然との共生をめざした社会を実現するため、市民・事業者等の連携と役割分担を明らかにするとともに、本市においての安全で快適な都市環境づくりを推進する総合的な仕組みを構築し、将来の世代に環境にやさしく快適な暮らしを引き継いでいく。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針 取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>低炭素社会、循環型社会及び都市における自然との共生をめざした社会を実現するためには、市民・事業者・NPO法人・行政との協働により進めることが不可欠であり、また、行政内部においても、部内はもとより庁内関係部局と情報を共有し連携することが求められており、これらを当部の基本姿勢として業務を遂行するとともに、第3次環境基本計画に基づき、望ましい環境都市像の実現をめざします。</p> <p>○低炭素社会づくりについては、省資源・省エネルギーを通じた低炭素社会の実現に向けて、家庭や事業所、市有施設などにおいて省エネルギーを推進するとともに、エネルギーを消費しても二酸化炭素を発生しない再生可能エネルギー等の導入を進めます。また、二酸化炭素を吸収するための取り組みを進めます。</p> <p>○都市における自然との共生をめざした社会づくりについては、緑地や水辺などそれぞれの特性に応じた保全を図り、都市化が進んでいる本市にふさわしい形で都市における自然と共生した地域づくりに努めるとともに、生物多様性に配慮した自然の回復・創出に取り組みます。</p> <p>○循環型社会づくりについては、市民・事業者・行政・NPO法人等による多面的な取組を一層促進するため、3R（発生抑制・再使用・再生利用）行動を通じた資源循環の推進や、廃棄物の減量に向けた施策の拡充を進めます。</p>	<p>○「第3次環境基本計画」で掲げた環境分野の個別計画において、目標達成に向けた事業が推進されています。</p> <p>また、「第3次環境基本計画」の特長である環境目標1「よりよい環境をめざして多様な主体のパートナーシップで取り組む」を進行管理するため、「協働の取り組みに関する意見交換会」を開催し、協働の取り組み状況を確認したうえで環境審議会から評価をいただきました。</p> <p>○第2次地球温暖化防止地域計画を推進するとともに、吹田市と「地球温暖化対策に資する自治体間連携・協力に関する基本協定」を締結し、「電力のグループ購入（EE電）」を実施しました。また、喫緊の気候変動危機に対する「気候非常事態共同宣言」を行い、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」に取り組むことを表明しました。</p> <p>○千里中央公園の再整備手法を決定し、公募に向けた事業者のサウンディング調査を実施するとともに、ふれあい緑地の新たな利活用をするため公募により飲食店舗の事業者を選定し、魅力ある公園をめざしました。</p> <p>○ごみの減量と3Rの推進を目的として、「とよなか環境TV」の配信や食品ロス削減を目的に事業者との協働による「フードドライブ」を実施するなど取り組みを行いました。</p>

### 3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>環境基本計画の推進</p> <p>○第3次環境基本計画に示す環境目標の達成に向け、「持続可能な低炭素社会づくり」や「廃棄物の減量および適正処理を通じた循環型社会づくり」「都市における自然との共生をめざした社会づくり」など5つの取組み項目を進めることで、望ましい環境都市像の実現をめざします。</p> <p>* 計画の進行管理            年度評価版：8月公表、環境報告書：3月公表</p> <p>* 地域間連携事業の実施            能勢町との連携活動実施（環境学習、イベント等）</p>	<p>○PDCAサイクルに基づいて分野別計画等の進捗状況を把握するとともに、環境目標の達成状況について要因分析を行いました。</p> <p>○今年度は「豊中の生物多様性の保全と活用」をテーマに、協働の取組みに関する意見交換会をWEBで開催しました。</p> <p>○計画の達成状況及び要因分析を「とよなかの環境（速報版）」として8月に公表し、市民等の意見や環境審議会からの評価などをもとに、環境報告書「とよなかの環境～2019年度評価と今後に向けて～」作成、3月に公表しました。</p> <p>○地域間連携については、「能勢の里山活力創造推進協議会」へ参画することで、能勢町と吹田市との連携を強化しました。また、「里山Dayキャンプ」の実施に向けて協議を進めました。</p>	<p>○第3次環境基本計画を推進するため進行管理のサイクルを円滑に進めます。</p> <p>○次年度は、「温暖化対策」をテーマに「協働の取組みに関する意見交換会」を進めます。</p>
<b>総合計画</b>			
	3-1-① 環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進めます。		
<b>基本政策</b>			
	42 環境施策の推進（第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ 21 の策定支援など）		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>低炭素社会の実現に向けた省エネ・創エネの推進</p> <p>○地球温暖化対策への関心を高め、環境活動のすそ野を広げます。 *「クールチョイス※1普及啓発事業」 事業実施：7月～1月</p> <p>○家庭における再生可能エネルギーの利用などを促進します。 *「住宅用再生可能エネルギーシステム設置補助事業」 「家庭用燃料電池システム設置補助事業」 「住宅の窓断熱リフォーム支援事業」 「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス※2（ZEH）普及促進補助事業 受付：5月～</p> <p>○第4次地球温暖化対策実行計画に基づき、市役所の事務・事業から排出する温室効果ガス排出量の削減を促進します。 *ノンフロン冷媒の導入に向けた実証実験 上半期：協定締結、下半期：実証実験の実施</p> <p>○再生可能エネルギーの導入率の高い電力会社からの電力調達を進めます。 *市民への斡旋事業 上半期：協定締結、下半期：募集</p> <p>○カーボンオフセット事業の可能性について検討を進めます。 *隠岐の島町との調整</p> <p>※1 温室効果ガス削減のために国が主導する運動。暮らしを快適にするとともに環境にも優しい「賢い選択」のこと。 ※2 住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り、年間に消費する正味（ネット）のエネルギー量が概ねゼロ以下となる住宅。</p>	<p>○クールチョイス普及啓発事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で国の補助金の対象となる事業は見送りましたが、伊丹市や県立伊丹高等学校と協働し、観光と公共交通機関の利用促進を図ることをテーマとした動画を作成し、大阪国際空港の兵庫県ブースで放映しました。</p> <p>○各補助金の申請を、非接触型の申込にすることや、申請のタイミングを着工前から完了後に変更したことで、効率的な予算執行を行うことができました。</p> <p>○ノンフロン冷媒導入に向けた実証実験を環境部所管施設で実施するとともに、実証実験結果の検証を行いました。</p> <p>○8月末に吹田市と「地球温暖化対策に資する自治体間連携・協力に関する協定」を締結し、「電力のグループ購入事業（EE電）」を実施しました。</p> <p>利用実績：登録数 1439件 （うち豊中市599件） 切替え数 146件 （うち豊中市47件）</p> <p>○カーボンオフセット事業については、隠岐の島町と事業の方向性や実現性を調整し、事業計画書（案）の作成に取り組みました。また、能勢町でも取り組めるよう、認証制度の制定を大阪府等へ要望しました。</p>	<p>○世界や国の脱炭素化の潮流に合わせて、ゼロカーボンシティ実現に向けた取組みを検討します。</p> <p>○地球温暖化対策への関心を高め、環境活動のすそ野を広げるとともに省エネルギーの推進や適応策として熱中症対策を進めるなど市民等の行動変容を図ります。</p> <p>○再生可能エネルギー等の導入を促進するため、事業の効果や社会情勢などの実態を踏まえ、補助金事業等の見直しを行います。</p> <p>○第4次地球温暖化対策実行計画に基づき、本市から排出される温室効果ガスを積極的に抑制するため、再生可能エネルギー導入アクションプラン等の方針を策定します。</p> <p>○カーボンオフセット事業は、具体的な森林等の保全整備や木材利用などに関する調整を行い、隠岐の島町や能勢町と協定を締結できるよう進めます。</p> <p>○地球温暖化対策に関する諸問題について、中核市（西宮市・尼崎市・豊中市・吹田市）によるNATSの連携をはじめとして広域的な事業展開に取り組んでいきます。</p>
<b>総合計画</b>			
	3-2-① 低炭素社会の実現に向けた取組みを進めます。		
<b>基本政策</b>			
	42 環境施策の推進（第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など）		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>魅力ある公園づくりの推進と都市公園の安全・安心対策</p> <p>○千里中央公園再整備基本計画に基づき、民間事業者との連携により事業を進めるため、公募によりその事業者の選定を行います。 *千里中央公園再整備に向けた事業者の公募 4月～9月 公募資料の作成 10月 再整備にかかる事業者の公募</p> <p>○大規模公園における利活用に向けた実証実験を行い、公民連携の可能性を検証します。 *ふれあい緑地における飲食店舗の整備・運営 7月 飲食店舗設置にかかる公募 11月 飲食店舗整備運営事業者の決定 *千里中央公園におけるデジタルサイネージの整備・運営 7月 デジタルサイネージによる健康支援事業(試行)の開始</p> <p>○小規模公園では、小学校区単位で地域団体等との連携による特色ある公園づくりに取り組みます。 *北丘小学校区における公園づくり 5月～8月 ワークショップ(2回程度) 9月～12月 取組マニュアル作成 1月～3月 次年度の整備等準備</p> <p>○土砂災害特別警戒区域に指定され、民有地に大きな被害が想定される公園の法面の安全対策に取り組みます。 *法面改修に向けた調査・設計 6月下旬 委託契約締結 7月～9月 調査 10月～3月 設計</p> <p>○北部・中部における防災機能拡充のため、新たに防災公園の整備に取り組みます。 *野畑中央公園・ふれあい緑地における防災公園の設計・整備 4月～8月 設計・積算 8月～10月 入札・契約 11月～3月 施工</p>	<p>○事業者ヒアリングにより、新規事業への参加意欲の低下が伺えたことから、整備手法を行政負担も含めた民間活力の導入へ方針転換するとともに、公募条件の精度を高めるサウンディング調査を改めて実施しました。</p> <p>○ふれあい緑地における飲食店舗の整備・運営については、公募により民間事業者を決定し、協定締結を行いました。</p> <p>千里中央公園におけるデジタルサイネージの整備・運営については、民間事業者と協定を締結し、健康づくり支援実証実験を開始しました。 利用実績：累計利用者数 約700名 累計移動距離 約1500km</p> <p>○コロナ禍の影響により、地域団体との情報交換やワークショップの開催ができませんでしたが、来年度に向け、市独自で実施した「公園でのピザ窯づくりからのピザづくり」を映像として提供し、公園の多様な活用手法についての意識啓発に取り組みました。</p> <p>○警戒区域の指定解除に向け、大阪府と協議を進めながら、榎ノ木公園及び千里緑地(2箇所)の法面改修設計を実施しました。</p> <p>○野畑南公園とふれあい緑地に災害時用トイレ、備蓄倉庫、ソーラー照明、かまどベンチを整備しました。</p>	<p>○令和3年度(2021年度)に公募により事業者の選定を行うとともに、トイレやベンチ等の施設改修工事を実施します。令和4年度(2022年度)中の民間事業者による収益施設の運営、公園活性化事業の実施をめざします。</p> <p>○緑地での民間事業者による飲食店舗については、令和3年(2021年)6月の整備・運営開始に向け協議を進めます。</p> <p>デジタルサイネージについては、協定期間内(~7月末)の事業効果について評価・検証を行い、利用データを収集する仕組みの構築と収集したデータの活用方法について検討を進めます。</p> <p>○引き続き、北丘小学校区の小規模公園再整備計画の策定に向け、地域と協働し取組みを進めます。</p> <p>○令和3年度(2021年度)に法面改修工事を実施し、民有地の安全を確保します。</p> <p>○今後は、備蓄品の確保と施設を活用した防災活動の取組みを関係部局と連携し進めます。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>3-1-② 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます。</p>		
	<b>基本政策</b>		
	17 魅力ある公園づくりの推進(千里中央公園再整備など)	28	防災公園・公開空地の拡充

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	都市緑化の推進と公園の適正管理	<p>○南部地域の私有地の緑化に効果的な助成制度の拡充の検討等を行うとともに、みどりのフォーラムを開催するなど、緑化推進啓発に係るイベント・講習会を実施しました。また南部地域でのみどりのフォーラム開催に向けた検討を行いました。</p> <p>○樹木簡易調査結果に基づき、8本の危険木の撤去を行いました。また76公園1,387本の樹木簡易調査を実施し、令和3年度(2021年度)樹木管理計画を策定しました。</p>	<p>○地域における緑化への意識調査を行い、量だけではなく、身近なみどりへの満足度を向上させる効率的・効果的な緑化施策の検討・構築に取り組めます。</p> <p>○引き続き、公園樹木維持管理方針に基づき、適正かつ効率的な維持管理、良好な都市環境の形成、維持管理費の抑制を目標として、計画的な公園樹木の適正管理を行います。</p>
	<p>○南部地域における緑化を推進します。</p> <p>* 効率的・効果的な緑化施策の検討及び仕組みづくり 4月～8月 検討 9月～11月 仕組みづくり</p> <p>○公園樹木維持管理方針に基づき、公園樹木の適切な維持管理を行います。</p> <p>* 公園の危険木調査の実施及び危険木等の撤去・更新 4月～6月 撤去 11月～1月 危険木調査</p>		
<b>総合計画</b>			
	3-1-② 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます。		
<b>基本政策</b>			
	42 環境施策の推進 (第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ 21 の策定支援など)		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	<p>協働による循環型社会の構築</p> <p>○第4次一般廃棄物処理基本計画に基づき、可燃ごみの約8割を占める食品ごみ、紙類の削減に向け施策を推進します。  *フードドライブの実施 4月～3月  *ソーシャルメディアを活用した効果的な情報発信 4月～3月</p> <p>○プラスチック類の削減に向けて、マイバッグ、マイボトルの持参を推進し、ワンウェイプラスチックの削減に取り組みます。  *職員、公共施設からの率先行動を推進します。</p> <p>○3R事業の推進に取り組みます。  *幼少期から環境に対する興味・関心を高めるため、関係部局と連携し、充実した環境学習を実施します。  小学校 4月中旬～9月上旬  こども園等 9月中旬～3月中旬</p> <p>○し尿等の安定的な処理に向けてし尿処理施設に係る基本構想を策定し、豊中市伊丹市クリーンランドによる伊丹市との共同処理に向けた取組みを進めます。  *し尿処理施設基本構想策定 4月～9月  *基本設計 12月</p>	<p>○コロナ禍の影響により、地域イベント等でのフードドライブは実施できませんでしたでしたが、事業者との協働による取組みは、事業者を拡大するとともに、2,686.2kgの食品を市社会福祉協議会を通じ、食品が必要な方等で活用していただきました。今年度、この市内完結型フードドライブの取組みが評価され、消費者庁主催の「食品ロス削減大賞」において、「食品ロス削減推進大賞審査委員会委員長賞」を受賞しました。また、YouTube「とよなか環境TV」で13作品を配信し、周知啓発を図りました。</p> <p>○ペットボトルの削減に向け「オリジナルマイタンブラー作り」を開催し、プラスチックの削減について学習していただきました。</p> <p>○環境学習については、豊中市伊丹市クリーンランドと連携し、小学校やこども園からの依頼に基づき、公立小学校15校、公立こども園7園、私立保育園3園で、ごみの分別・最終処分場・リサイクル品等について学んでいただきました。</p> <p>○し尿処理施設に係る基本構想を策定、両市協議により、伊丹市の現有処理施設を10年程度継続して使用する中で、引き続き整備に向けた検討を行うこととしました。</p>	<p>○可燃ごみの約8割を占める食品ごみ、紙類の削減に向け、引き続き計画の目標値を達成するべく、ごみ減量施策を進めていきます。また、食品ロス削減に向け、国や府が策定した食品ロスに関する計画や家庭系及び事業系ごみ排出実態調査の結果を踏まえて本市の「食品ロスの削減の推進に関する計画」を策定します。</p> <p>○環境にやさしい行動を自ら実践できるように支援するため、関係部局と連携を図り、ごみ問題を基軸とした環境学習に取り組み、「分別」の重要性に「気づき」、自らのライフスタイルを変革させる「行動」に結びつけるよう取り組みます。</p> <p>○し尿等安定的な処理が行われるよう委託先である伊丹市と調整を図ります。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>3-2-② 循環型社会の構築に向けた取組みを進めます。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>42 環境施策の推進（第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など）</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	路上喫煙防止の推進	<p>○路上喫煙禁止区域3駅で喫煙マナー向上を図るため、朝夕36回の啓発活動を行いました。</p> <p>○新たに路上喫煙禁止区域に指定する8駅で実施した、通行量及び喫煙率調査をもとに路上喫煙禁止区域のエリアを設定し、令和3年(2021年)1月4日に路上喫煙禁止区域の告示を行いました。また、柴原阪大前駅周辺、岡町駅周辺に喫煙所を設置しました。</p>	<p>○関係部局と連携し、新たに指定した路上喫煙禁止区域の周知・啓発活動や喫煙所の設置を行います。</p>
	<p>○喫煙マナー向上を図るための啓発及びPR活動を実施します。</p> <p>＊周知・啓発 4月～3月</p> <p>＊私立幼稚園への横断幕設置 4月～3月</p> <p>○路上喫煙禁止区域の拡充に向けた調査を行います。</p> <p>＊市内8駅周辺において、区域指定に向けた調査の実施 4月～9月</p> <p>＊令和3年度(2021年度) 指定</p>		
<b>総合計画</b>			
	3-1-① 環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進めます。		
<b>基本政策</b>			
	32 健康施策の推進(食育の推進、健康マイレージ事業の実施、健診センターの設置など)		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	<p>新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策に伴う様々な影響を想定し、市民生活に関わる業務が確実に遂行できるよう準備を進めます。  * 廃棄物処理が安定的に維持できるよう、各委託業者と情報共有し連携を図ります。  * 安全かつ安定的に廃棄物の適正処理が実施できるよう必要な処置を行います。</p> <p>廃棄物処理事業者への指導監督 4月～  排出事業者への指導 4月～  廃棄物処理事業者及び関連医療関係機関等への情報提供 4月～</p>	<p>○廃棄物処理における新型コロナウイルス感染症対策として、まず、市民に対して廃棄物の排出方法や注意点などをホームページに掲載し、委託業者や職員に、環境省から通知のあるガイドラインに沿った感染予防対策を徹底するよう注意喚起を行いました。また、環境事業所においては、アルコールによる消毒や手洗いの励行、ビニールシートの設置や会議室等を開放し、三密を避ける対策を行いました。また、クールベストを導入し、熱中症対策等も行った結果、安定した廃棄物処理が継続できています。</p> <p>○国からの新型コロナウイルス感染症に係る廃棄物に関する通知について、廃棄物処理業者に対し周知を行いました。</p>	<p>○引き続き、廃棄物処理が安全かつ安定的に維持できるよう、職員周知及び各委託業者と情報を共有し連携を図ります。</p> <p>○新たな新型コロナウイルス感染症に係る情報を関係機関と共有し、感染拡大防止の対応と安定的な廃棄物の適正処理を図っていきます。</p>
<b>総合計画</b>			
	3-2-② 循環型社会の構築に向けた取組みを進めます。		
<b>基本政策</b>			
	42 環境施策の推進（第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など）		

#### 4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>第3次環境基本計画の推進</p> <p>○第3次環境基本計画に示す環境目標の達成に向け、「持続可能な低炭素社会づくり」や「廃棄物の減量および適正処理を通じた循環型社会づくり」「都市における自然との共生をめざした社会づくり」など5つの取組み項目を進めることで、望ましい環境都市像の実現をめざします。</p>	<p>* 地域間連携事業の検討（能勢町との連携事業の可能性検討） 令和3年度（2021年度）～</p> <p>* 環境基本計画をはじめとする分野別計画の中間見直し 令和4年度（2022年度）</p> <p>* 生物多様性地域戦略の策定 令和5年度（2023年度）</p>
	<b>総合計画</b>	
	3-1-① 環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進めます。	
	<b>基本政策</b>	
	42 環境施策の推進（第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など）	
2	<p>低炭素社会の実現に向けた省エネ・創エネの推進</p> <p>○第2次地球温暖化防止地域計画及び第4次地球温暖化対策実行計画の温室効果ガス排出量の削減目標の達成に向け、計画に掲げる取組事項を着実に進めます。</p>	<p>* カーボンオフセット事業（隠岐の島町・能勢町） 令和3年度（2021年度）～</p>
	<b>総合計画</b>	
	3-2-① 低炭素社会の実現に向けた取組みを進めます。	
	<b>基本政策</b>	
	42 環境施策の推進（第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など）	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	魅力ある公園づくりの推進 公園の魅力向上のため、千里中央公園などの大規模な公園では公民連携の可能性も検討しながら活性化を図り、小規模な公園では小学校区単位で地域団体等との連携により特色ある公園づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 千里中央公園 令和2年度（2020年度） 事業者公募 令和3年度（2021年度） 再整備 令和4年度（2022年度） 新たな運営</li> <li>* 大規模公園 令和2年度（2020年度）～ 実証実験及びスキーム検討以降、事業展開実施</li> <li>* 小規模公園 令和2年度（2020年度）～ モデル校区での事業実施以降、校区展開実施</li> </ul>
	<b>総合計画</b>	
	3-1-② 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます。	
	<b>基本政策</b>	
	17 魅力ある公園づくりの推進（千里中央公園再整備など）	28 防災公園・公開空地の拡充
4	第2次みどりの基本計画の推進と進行管理 平成30年度（2018年度）から運用を開始した第2次みどりの基本計画に基づいた施策を推進するとともに、PDCAサイクルを用いた進行管理を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 継続して実施</li> <li>* 緑被量調査 令和3年度（2021年度）</li> <li>* 中間総括 令和4年度（2022年度）</li> </ul>
	<b>総合計画</b>	
	3-1-② 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます。	
	<b>基本政策</b>	
	42 環境施策の推進（第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など）	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
5	<p>協働による循環型社会の構築</p> <p>○第4次一般廃棄物処理基本計画に基づき、食品ロス等削減に向けた施策を市民・事業者と協働して推進します。また、リユース事業の拡充に取り組むとともに、市民周知のツールとしてソーシャルメディアを活用した効果的な情報発信を行い、ごみ減量を推進します。</p> <p>○「食品ロス削減推進計画」の策定に向けて、国、府の動向に注視しつつ、実態調査を実施します。</p> <p>○ワンウェイプラスチックの削減に向けて、マイバッグ、マイボトルの持参を推進します。</p> <p>○計画の中間目標年度である令和4年度（2022年度）に、計画の進捗状況等に依りてごみ減量施策を見直します。</p>	<p>*食品ごみ、紙ごみの削減 継続実施</p> <p>*リユース事業の拡充 継続実施</p> <p>*ソーシャルメディアを活用した情報発信 継続実施</p> <p>*食品ロス削減計画策定 令和3年度（2021年度）</p> <p>*継続実施</p> <p>*一般廃棄物処理基本計画の中間見直し 令和3年度（2021年度）～令和4年度（2022年度）</p>
	<b>総合計画</b>	
	3-2-② 循環型社会の構築に向けた取組みを進めます。	
	<b>基本政策</b>	
42 環境施策の推進（第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など）		
6	<p>路上喫煙防止の推進</p> <p>○路上喫煙に関する受動喫煙等の様々な課題の解決を図るとともに、令和3年度（2021年度）（仮称）豊中市健康安全のためのたばこ対策の推進に関する条例（案）施行に向け関係部局と連携して取組みを進めるとともに、周知、啓発を実施します。</p>	*継続実施
	<b>総合計画</b>	
	3-1-① 環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進めます。	
	<b>基本政策</b>	
32 健康施策の推進（食育の推進、健康マイレージ事業の実施、健診センターの設置など）		